

知的障がい教育における国語科を指導する時のポイント

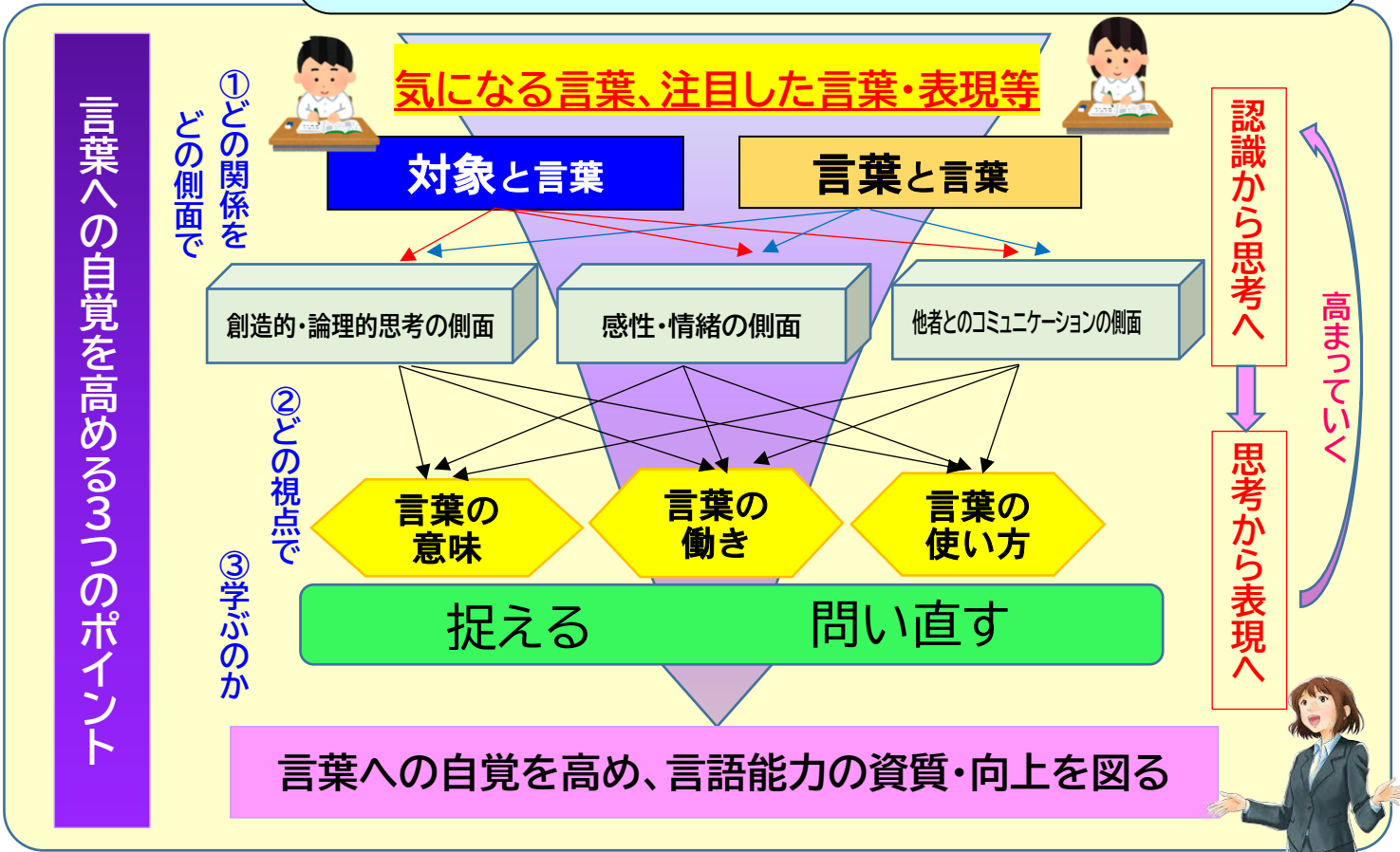
「言葉による見方・考え方」とは？

特別支援学校学習指導要領解説知的障害者教科等編(上)(高等部)の国語科において、下記のように示しています。

言葉による見方・考え方を働かせるとは、生徒が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めることであると考えられる。
(下線部は相馬支援学校による。)



平成 28 年の中央教育審議会答申*1) の中では、対象と言葉、言葉と言葉の関係を、創造的・論理的思考、感情・情緒、他者とのコミュニケーションの側面から、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉え、その関係性を問い直し意味付けるといったことが行われており、そのことを通して、自分の思いや考えを形成し深めることが、国語科における重要な学びであると、さらに詳しく述べています。

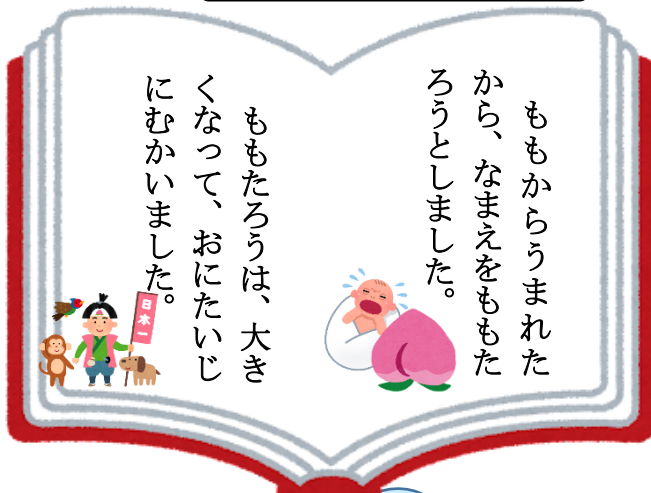


- 【創造的・論理的思考の側面】：情報を多面的・多角的に精査し構造化する力が重要であり、主にこの側面を高めることにより、自分のものの見方や考え方を広げ深めようとする態度につながると考えられる。
- 【感性・情緒の側面】：言葉によって感じたり想像したりする力や感情や想像を言葉にする力など、様々な事象に触れたり体験したりして感じたこと、想像したことを、言葉を通して自覚することが重要であり、主にこの側面を高めることにより、心を豊かにしようとする態度につながると考えられる。
- 【他者とのコミュニケーションの側面】：言葉を通じて伝え合う力が重要であり、主にこの側面を高めることにより、積極的に人や社会と関わり、自己を表現し、他者の心と共感するなど 互いの存在についての理解を深め、尊重しようとする態度につながると考えられる。
(参考：言語能力向上に関する特別チームにおける審議のまとめ、2016)

実践！



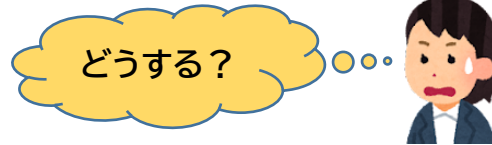
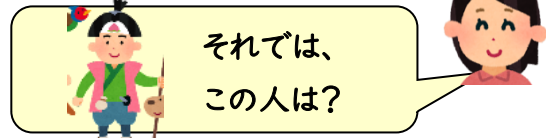
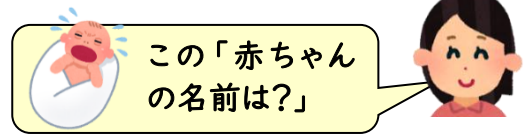
小学部「桃太郎を読もう」



認識

ちがう人たちだ...

最初、子供たちは・・・



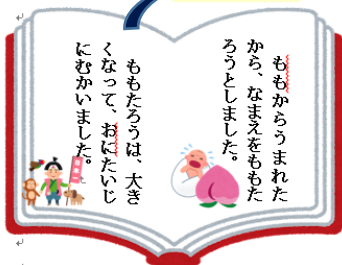
そこで・・・

もう一度、「対象と言葉」との関係を、

論理的思考の側面

から「言葉の意味」に着目して、「問い直す」!!

思考



問い直す!

自分たちと同じで、成長していったんだ...



担任の大きくなる時系列の写真 (赤ちゃん～桃太郎の時期)

時間の経過を捉えることで、より深い楽しさへ

担任の赤ちゃんの写真と成長していった姿から、「大きくなった」の意味を問い直し、赤ちゃんの時の名前も同じであることに気づき、物語をより深く理解した瞬間!!

表現

授業者が「言葉の見方・考え方」について考え、どのポイントを押さえるかを意識して授業展開することで、子供達の「言葉への自覚を高める」ことができ、国語の資質・能力を育むだけでなく、それを要としている、あらゆる教科の基盤となる言語能力の育成にもつながっていきます!!

小学部2段階の資質・能力を育成の充実

画像：出典：https://ai-catcher.com/

*1：平成28年12月、中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」

（文責：研修部：青木梨紗・富村和哉）